

## 最優秀

おにいちゃんみたいになりたいな

新見市立野馳小学校

一年 ふじむら あおい

ぼくは、一ねんせいになって、バスケットをならいはじめました。バスケットをはじめたりゆうは、三ねんせいのおにいちゃん、バスケットをならっているからです。さいしよは、やきゆうがしたかったけど、おにいちゃんがたのしそうにバスケットをしているのを見て、ぼくもしてみたいとおもうようになりました。

バスケットをはじめたころは、シュートがはいりませんでした。ぼくは、一しゆうかんに二かい、チームのなかまとれんしゆうをしています。でも、いえではまいにち、おにいちゃんとれんしゆうをしています。おにいちゃんは、

「さいしよはシュートがはいらなくても、れんしゆうしたらはいるようになるよ。」

と、いつてくれました。いつぱいれんしゆうをしているうちに、すこしシュートがはいるようになりました。はじめてシュートがはいつたときは、おにいちゃんといっしよにおおよろこびしました。

ぼくには、おにいちゃんだけではなく、五さいのおとうともいます。おとうとは、まだバスケットをはじめていません。だから、ぼくもおにいちゃんみたいに、おとうとにバスケットのしきをおしえてあげたいです。いつか、きょうだい三にんで、バスケットをするのがとてもたのしみです。

おにいちゃんは、バスケットだけでなく、がっこうのこともおしえてくれます。けんかをするのもたくさんあるけど、ぼくは、おにいちゃんがだいすきです。

ぼくもおにいちゃんです。こんどは、ぼくがおにいちゃんみたいに、おとうとにバスケットやしようがっこうのことをおしえてあげたいです。